

◆大切なお知らせ◆

会費について過去5年間未入金の方は会員名簿から削除させていただきます。該当の方で、会員としての活動にご賛同いただける方は、会費の入金を何卒よろしくお願いたします。

◆編集委員よりお知らせ

次号の会報より、会員の皆様からの情報を掲載いたします。  
演奏会や企画の案内など掲載したい情報を総務までお寄せ下さい。  
紙面のスペース等により、掲載できない場合もございます。なお、会報発行は夏から秋にかけての年1回です。何卒ご了承下さいませ。  
あわせて、ホームページの掲示板も是非ご活用下さい。

育成会同窓会のための情報連絡サイト  
NHK邦楽技能者育成会同窓会の広場

<http://hougaku-ikuseikai.com/>

会員の皆様への情報発信を行っています。  
また会員相互の情報交換の場としてご活用ください。

NHK邦楽技能者育成会同窓会事務局

住所：〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-9-304 古屋方  
メール：n.ikuseikai.dousoukai@gmail.com  
FAX：03-6800-2012  
TEL：080-3081-6227

同窓会についてのお問合せ、ご意見など何でもご連絡ください。  
各ジャンルの担当につながります。  
なるべくメールもしくはFAXにてお願いいたします。

NHK邦楽技能者育成会同窓会 会報第6号

## ■役員体制について

平成30年3月3日公示、同17日立候補締切のNHK邦楽技能者育成会同窓会役員選挙が行われました。理事・監事ともに立候補者数が役員定数範囲内だったため、立候補者全員が無投票当選となり、以下の理事・監事候補者は5月29日(火)開催予定の総会において承認され正式に就任となりました。

※ ( ) 内は卒業期

### 【理事】

後藤すみ子(2/副理事長)・杵屋静子(5/理事長)・古屋輝夫(16)・三橋貴風(17/副理事長)・  
釣谷真弓(27)・富緒清律(33)・福田栄香(33)・石川利光(37)・小林千恵子(46)・今英里(50)・  
松本宏平(53)・福本礼美(54)・井上美和(55)

### 【特別会員理事】

秋岸寛久・板倉康明・菅野由弘・羽田野歌子 (50音順)

### 【監事】

森田柁山(19)・原郷界山(44)

## ■新役員紹介

### ◆理事◆



後藤 すみ子(2期)

育成会同窓会も2011年に立ち上げて、はや八年が経ちました。会の形態も決まってきたかと思えます。近年、日本人の持っている繊細さ、誠実さその素晴らしさが世界の人々に見直されてきております。この時に、日本伝統音楽もきちんとした形で誇りを持って伝えられる様に努力をして行きたいと思っております。



杵屋 静子(5期)

本年の日本は自然に恵まれず、辛い一年で御座いました ありがたいことに 芸の道を無事に歩めましたこと 誠に幸せに存じます 来年も皆さまと勉強が出来ますかと心から祈っております。



古屋 輝夫(16期)

前期から理事会に若い力が加わり、アイデア一杯の企画や、先ずは動き始めてみようとの活動が目覚ましく、今後が益々楽しみです。若い力と一緒に身体も頭も動かせませんが、応援で役に立てたらと思っております。



三橋 貴風(17期)

本年は11月5日(月)に新生「現代邦楽“考”」の初公演が行われますが、本体の同窓会がその分科活動を実質的に稼働させる最初の年ということになると思っております。この同窓会に将来に於いて永続性のあるスケールの大きな組織となって行く為に、微力乍ら精一杯の御協力をさせて頂きたいと存じます。



釣谷 真弓(27期)

現代邦楽を支えてくれた育成会の意義と価値を、現在と未来の邦楽界に残して反映させるために、今私たちは行動をおこさなければならないのではないのでしょうか。微力ながらその普及のために頑張りたいと思います。



富緒 清律(33期)

前期に引き続き理事に立候補致します。現代邦楽“考”が始動し、第一回の演奏会の準備が進んでいます。会の成功に向け努力していききたいと思っております。



福田 栄香(33期)

NHK邦楽技能者育成会の卒業生は、非常に広く様々な分野で活躍しています。その貴重な出会いを活かして発足された同窓会内の更なる交流を深め、演奏会や講習会等を企画開催すると同時に、その活動を積極的に発信出来るよう体制を整え、社会一般に対しても自国文化への関心を促し、日本伝統音楽(邦楽)の発展を訴えて参りたいと存じます。



石川 利光(37期)

中央と地方、そして地方在住会員の橋渡しの仕事が出来ればと考えています。なかなか具体化に至りませんが、地方でのイベントも模索して行きたいと思っております。



小林 千恵子(46期)

育成会卒業同窓会の存続と今後の発展の為、微力ながらお手伝いをさせて頂きたく立候補させていただきました。秘めた馬力が持ち味です。何卒よろしく願い申し上げます。



今 英里(50期)

総務として期をこえた親睦を深め、交流から諸先輩方から学ばせて頂く機会が増えるよう努めてまいります。今期は評議員担当理事として、皆様の声を多く伺いたいと存じます。お気軽にお声かけ下さい。また、親睦会も兼ねた『おとなの遠足』のご参加ご意見もお待ちしております。



松本 宏平(53期)

微力ながら、同窓会のお役に立てますよう尽力してまいりたいと存じます。



### 福本 礼美(54期)

微力ですが、精一杯務めさせていただきたいと思います。



### 井上 美和(55期)

一昨年からスタートした新体制の発展と、会員の皆様にとって、より公平で伝わりやすい組織作りを目指して、微力ながらお役に立つことができればと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。



### 秋岸 寛久(特別会員)

なかなか関わることができませんでしたが、少しでもお役に立てることがあれば、お手伝いさせていただきます。



### 板倉 康明(特別会員)

洋楽での経験を活かし、会のさらなる発展にお役に立てればと思っております。



### 菅野 由弘(特別会員)

NHK邦楽技能者育成会同窓会から、演奏集団としての「現代邦楽"考"」を結成するという発展的な流れが、更に深化する姿を、外部理事として見守ると共に可能な限り支えて行ければ、と思います。



### 羽田野 歌子(特別会員)

2020オリンピックを前にして、文化的な催しが盛んになってきたように思えます。日本の伝統的なものへの関心も高くなってくればよいが、と願っております。NHK 育成会は、第二次大戦後の荒廃した日本をみて、それまでどちらかと言えば、流派ごとに殻にこもっていた伝統芸能の世界を、垣根を越えてグローバルに発展していく人材を育てたいと願ったNHKの先輩たちのあつい思いから生まれました。最近では、和楽器を使ったグループの活躍も見られるようになって、もっと伝統楽器の音が普通に見られる世界を夢見ております。卒業生の活躍に期待しています。

### ◆ 監 事 ◆



### 森田 柁山(19期)

卒業生の皆様の育成会への「熱い想い」に支えられて、同窓会設立準備委員から設立理事まで同窓会設立の一端を担わせていただきました。設立後は監事として務めさせていただいておりますが、今期も微力ながらお役に立てればと思っております。



### 原郷 界山(44期)

昨年まで会計を担当しておりましたが、本年より監査という立場で資金管理を見守って参ります。育成会同窓会の活動も組織の見直しによる効果が徐々に目に見えだした段階だと感じております。会員の皆様には今後とも運営へのご理解ご協力、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## ■ 評議員会

第4期評議員をご紹介します。

杵屋勝真代(6) 五味静子(7) 小林富美代(8) 久保暉子(9) 伊藤厚勢(12) 田辺園由香(13) 富成清女(15) 本莊洋子(16) 春原香代子(17) 大澤善子(18) 曾我哲山(25) 石川憲弘(26) 田辺頌山(27) 高橋春奈(28) 横山裕子(29) 山田明美(30) 山口連山(32) 合田真貴子(34) 大田由美子(35) 中川裕美(37) 設楽瞬山(38) 山口賢治(39) 金田智子(40) 高橋裕恵(43) 川俣夜山(45) 中畝詩歩(48) 斎藤彩子(49) 熊本文(50) 岩本みち子(51) 佐々井真矢(52) 西山麻弥子(53) 馬場千年(54) 寺井結子(55) 以上33名

評議員長は、設楽瞬山(38)に決定いたしました。

評議員会では、より多くの会員からの声を届けていただくためにも、増員が望まれます。

評議員不在期はもちろんのこと、期に複数の評議員も可能です。

立候補、直接のお声かけ、ならびに適任と思われる方のご紹介でもかまいません。

評議員会では、評議員を随時募集しております。

## ■ 第7回通常総会

去る平成30年5月29日(火)、渋谷区勤労福祉会館に於いてNHK邦楽技能者育成会同窓会第7回通常総会が開催されました。以下に議事録を掲載いたします。

NHK邦楽技能者育成会同窓会 第7回通常総会

日時：平成30年5月29日(火) 14:00~17:30  
場所：渋谷区勤労福祉会館 第二洋室

開会宣言  
定足数報告会員数617名  
出席28名/委任状提出332名(葉書315/メール17) 成立

理事長挨拶

議長選出  
指名・承認  
議長：中川裕美(37) 書記：釣谷真弓(27)  
議事録署名人：富緒清律(33) 井上美和(55)

### ◆ 議事 ◆

※ 研修チームの発表者が途中退席のため、研修チームの事業報告、30年度の事業計画のみ先に審議

### ◇ 第1号議案 平成29年度事業報告

【研修チーム】  
講習会と演奏会、収支報告(30年度事業計画、予算案)  
・アーツカウンシルの助成50万が入ったので、同窓会会計からの補助85万を受けたが、返金することができて実質50万の補助となった。  
・演奏会(2018年3/10)の出演者54名に対して、一人5000円の放送出演料を支出した。  
・NHK出演料は毎年減額の傾向にあるので、今後は期待できず来年度は計上なし。  
・アーツカウンシルは「考」に助成が出るので、同一年度に同じ団体にはもらえず、同窓会会計より95万の補助をもらいたい。  
<質疑応答>  
Q 昨年と支出金額に50万の差があるが大丈夫か？  
A 出演者に放送出演料は支払わないし、会場費が安い。  
Q 予備費を計上してはどうか？  
A 次回より考慮する。演奏会の出演者(会費)が増えてほしい。

<決議> 承認

【総務チーム】  
特別会員理事委嘱報告 4名  
助成金交付決定報告 3件 計8万  
・助成金の交付基準、決定は内規に従っている。問合せがあれば回答する。

<質疑応答>  
Q 助成金についての告知はどのように行っているか？  
A 会報で全員に通達、HPに掲載、かつメール登録会員には補助的に伝えている。

○第4期役員選挙報告  
第4期役員を公示(3月3日~17日)の結果、理事として13名、監事2名の立候補があり無投票当選であったことを報告。

○「おとなの遠足」第3回を29年11月21日開催、築地浜離宮、鉄道博物館を見学。

<決議> 承認

【合奏団チーム】  
○発足に至る経緯説明  
・28年11月29日臨時総会にて、親睦と演奏者育成、発表を両輪とする目的で演奏グループを結成することを決議。  
29年8月団員募集 オーディションを告知  
・一次書類審査・「考」および国立劇場公演の参加者、個人的実績のある人は二次審査免除も検討(34名)  
・10月3日葛飾シンフォニーヒルズでオーディション実施8名のうち4名合格  
審査員：板倉康明 田中隆文 羽田野歌子 藤本草 三橋貴風 古屋輝夫 福田栄香(敬称略)  
・1名辞退により37名で発足  
・11月20日発足 正指揮者 板倉康明氏  
・30年2月より月1回練習開始

○今後の課題  
・今年の演奏会に31名出演 人数的に余裕がない。→将来的にはAB群編成などが必要か。  
・経費の問題 プロであっても持ち出し状態。

<質疑応答>  
Q 今後、チーム名を変えるのか？

A チーム名は現代邦楽「考」で決定。組織としては同窓会の内部組織。理事会で総務チームとスリ合わせしながら活動する。

Q 合奏団独自の規約を作った理由は？総会で承認を得るべきでは？

A 公的に通用する任意団体として助成金、口座開設などで規約が必要。あくまで同窓会を母体とした組織。承認は得ていないので、これから対応する。

Q 人数が足りないとのことだが随時募集するのか？評議員会には現状のままと報告されているが。

A まず1回目の公演まではこれでいくという意味。今後もっと意欲的な団員を増やさなければならない。あらゆる対応ができるオールマイティを目指す団体として外部にも関わっていきたい。

Q 卒業生以外もメンバーにすることか？

A まったく可能性がないわけではないが、まず卒業生を同窓会の会員に誘わねばならない。

Q 育成会がなくなってから入りたかった人もオーディションなどでメンバーに入れる可能性はあるか？

A あり得る。しかしまず卒業生を同窓会に誘うべき

<p>&lt;決議&gt; 承認</p>
<p>◇第2号議案 平成29年度会計報告</p>

<補足説明>  
・予算額と決算額の差は会員が多数退会して在籍者が減ったため。  
・会報作成費が予算額より少なかったのは、外部発注せず松本氏がレイアウトしてくれた。・講習会、「響」へ補助は本来独立採算が望ましいが同窓会として外部にアピールできるものである。  
・通信費が赤字だったのは、メール便から郵送に代えたこと、郵便料の値上げによる。

<p>&lt;質疑応答&gt; Q マイナスの通信費だが、未入会の人にもPRのため郵送したほうがよいと昨年提案したことはどうなっているか？ A 退会者には出しているが、未入会の人には出していない。今後予算の中で検討する。 現在卒業生2300名、会員617名、退会者約200名 未入会約800名 残りは不明 現在会員と退会者に演奏会案内郵送</p>
---

<p>◇第3号議案 監査報告</p>
<p>&lt;決議&gt; 承認</p>

<p>◇第4号議案 平成30年度事業計画</p>
<p>【総務チーム】 ○「おとなの遠足」第4回を6月6日に予定 法身寺（虚無僧寺の江戸番所）→神楽坂で昼食→宮城道雄記念館</p>

【合奏団チーム】  
○9月1日洗足学園における全国邦楽合奏フェスティバルで現代邦楽研究所との「スペシャルコンサート」に出演。洗足の松尾祐孝先生よりのオファー。  
11月公演と同じ曲、メンバーで《絲竹交響第二番》（藤井凡大）と《日輪幻影》（菅野由弘）を演奏。  
○11月5日主催（第1回旗揚げ）公演 文化会館小ホール  
・権代敦彦氏に新曲を委嘱。50万円の委嘱料を同窓会会計から支出してほしい。（第5号議案でも説明）  
・文化庁芸術祭参加公演をめざす。全て大編成の曲とは限らない。  
・思いがけずアーツカウンシルから70万の助成を受けたが、来年からは厳しい。・収支予算は一人の負担が約2万、JASLACは全作品が対象なので7万、印刷代は会員にレイアウトを依頼して節約。計2,256,000円の予定  
・当日、運営委員は全員演奏するので、スタッフとして運営に協力また集客に協力してほしい。

◇第5号議案 平成30年度予算案  
・会費未納者は5年で除外 来年度は76名が5年目となり541名に減る可能性あり。  
・昨年に比べて70万以上の支出増。  
・これまで毎年100万くらいのプールがあったが将来は見込めない  
・「響」「考」は将来独立採算制を目指してほしい。

<質疑応答>  
「考」の委嘱料はぜひ認めてほしい。その理由は、初演は「考」であるが、同窓会の財産となり「響」や会員に再演してもらいたい。

初演権というものはなく、1年間他の団体が演奏しないというのもこの世界の仁義的な慣習なので、再演が活性化につながる。

Q 権代氏を選んだ理由は何か？

A まずその作曲家の作風から。2番目に作曲家の外部での評価、能力。3番目に誰でもが委嘱していないがレベルの高い作曲家であること。邦楽器による曲も何曲かある。

Q 洋楽系の作曲家の作品は、再演したいと思う曲ではない場合が多い。

A 旗揚げ公演のトリの曲、将来イベントでも使用可能というリクエストを出している。

Q 委嘱料だけですむのか？パート譜作成費などが必要ではないのか？

A おそらくパート譜作成は不要と思う。パートは箏、十七弦、尺八、三味線（細・中棹）<決議> 承認

※会計は次年度より原郷から小林千恵子（46）に交代する。

<p>◇第6号議案 規約改正</p>
<p>1、評議員の定数を30名から20名に改正。評議員会からの要望により理事会で承認。現在38名、次年度第4期は32名でスタート。</p>

<質疑応答>  
Q 急激に人数を減らし過ぎのような気がする。定数を減らすと、それでよいと辞退する人が出てくる。消極的な選択で会として衰退していくのみ。25名、28名としてはどうか。

A 各期で1名という規定はなく、同期でもよいので声かけしてほしい。今年度は32名だからよいというのではなく、途中で定数割れをしたら、臨時総会を開いて改正しなければならない。ギリギリの人数というのは危険。この会は人数が確実に減っていくという性格をもっていることを認識しなければならない。評議員会は目安箱のような役割、現状維持に無理にこだわる必要はない。もう一度持ち帰って、評議員会で話し合ってもらえば？

Q 今出席している評議員の意見を聞きたい。（以下各評議員）  
・歳なので定数が20名になれば辞めたい。若い人に託したい。  
・もう80歳になるが、できるかぎり続ける。  
・評議員会を開催しても、いつも出席者は10名ほどしかない。持ち帰っても話が前進しないだろう。  
・評議員会から理事会にあげる事項が、きちんと必ず検討されているのかどうか。  
・評議員会の役割が不透明。やりがいがないことが出席率に影響している。

<p>&lt;決議&gt; 挙手 賛成22 反対3 → 改正案可決承認</p>
<p>2、常任理事という役職は現在おらず機能していないので削除。</p>

<p>&lt;決議&gt; 承認</p>
<p>◇第7号議案 評議員会報告</p>

○評議員会 昨年度は11月28日と3月2日の2回開催。提案を理事会に上げた。規定では「評議員会は年1回以上開催、理事長が招集」となっているが、年に2回では提案、報告が遅れる。今後重要事項はメールで対応できればよい。6月中に招集して評議員長を決定する。

<p>◇第8号議案 その他</p>
<p>Q 評議員会からの提案を理事会で検討しているか？ A 現在時間がかかっているので、改善したい。</p>

Q 会報に掲載してほしいという会員の要望があれば掲載してはどうか？有料でも載せたいという人もいるかも。

<p>&lt;決議&gt; 承認</p>
<p>議長解任 閉会</p>

<p>議事詳細については総務チームまでお問い合わせください。</p>
------------------------------------

## ■事業報告

平成29年度も様々な方面で同窓会活動が行われました。会員諸兄姉の活発なご参加・ご活動に感謝申し上げます。主に以下のような事業が執り行われましたのでご報告いたします。

### ◆現代邦楽「響」2018（講習会・演奏会）

現代邦楽「響」2018（講習会 演奏会）について、以下のとおり報告いたします。多くの皆様にご支援、ご協力をいただきまして、実施することができました。会報の紙面をお借りいたしましてみなさまに御礼申し上げます。

今年度も、NHK の収録が実現し、3/10 の本番演奏が「邦楽百番」「邦楽のひとつき」

で放送されました。（一部未放送分の放送予定を下部に記載しました。ぜひご聴ききください。）

また、今回アーツカウンシル東京からの助成を受けることが出来ましたので、放送出演料の一部を出演者に些少なから還元することといたしました。（交通費として一人 5,000 円 2018 年度「響」リハーサル時受渡予定）

<p>(1) 講習会</p>
<p>全2回：2017年9月10日 11月5日</p>
<p>場 所：雑司ヶ谷地域創造館 練習室 他</p>
<p>講 師：後藤すみ子氏 石川憲弘氏 杵屋子邦氏</p>
<p>参加者：25名（内2コマ参加者 6名）</p>
<p>参加費：10,000 円（2コマ目から+5,000 円）</p>
<p>内 容：①年輪（松本雅夫） 三絃 講師：後藤すみ子氏 ②年輪（松本雅夫） 箏 講師：後藤すみ子氏 ③春の讃歌（杵屋正邦） 講師：杵屋子邦氏 ④邦楽器のための Essay（牧野由多可） 講師：石川憲弘氏</p>

<p>(2) 演奏会</p>
<p>2018年3月10日（土）16:00 開演</p>
<p>会 場：日本橋公会堂（440 席） 入場者 246 名（内ご招待 6 名）</p>
<p>入場料：チケット 前売り 3,500 円 当日 4,000 円 学生 500 円（会員販売：3,000 円）</p>
<p>出演者：54 名</p>
<p>参加費：20,000 円（曲目追加 +5,000 円）</p>

<p>&lt;プログラム&gt;</p>
----------------------

- 風と光と空と（佐藤敏直） 指揮：板倉康明氏（出演者：21名）
- 三絃合奏曲 春の讃歌（杵屋正邦） 指導：杵屋子邦氏（出演者:10名）
- 邦楽器のための Essay（牧野由多可）指揮：石川憲弘氏（出演者：16名）
- 密度（一柳慧） 指揮：板倉康明氏（出演者:10名）
- 年輪（松本雅夫） 指導：後藤すみ子氏・指揮：板倉康明氏（出演者:18名）

<p>未放送分「密度」（一柳慧作曲）放送予定</p>
<p>NHK-FM 「邦楽のひとつき」</p>
<p>平成30年11月21日（水）11:20～11:50 /（再放送）11月22日（木）5:20～5:50</p>

(3) 現代邦楽「響」2018収支決算報告

	予算		実績		
	収入	支出	収入	支出	
<演奏会>					<演奏会>
会費	1,250,000		1,165,000		会費
チケット売上	500,000		327,000		チケット売上
同窓会補助	550,000		550,000		同窓会補助
NHK出演料			350,000		NHK出演料
会場費		500,000		548,750	会場費
音楽費		400,000		412,500	音楽費
文芸費		70,000		31,780	文芸費
印刷費		100,000		111,379	印刷費
謝金		400,000		458,000	謝金
通信費		150,000		168,371	通信費
会議費		100,000		92,569	会議費
事務費		30,000		36,529	事務費
放送出演料			270,000		放送出演料
交通費		100,000		92,000	交通費
文書作成費		150,000		133,000	文書作成費
その他		100,000		60,000	その他
リハーサル運営費		200,000		200,000	リハーサル運営費
演奏会計	2,300,000	2,300,000	2,392,000	2,614,878	演奏会計
<講習会>					<講習会>
会費	200,000		280,000		会費
同窓会補助	300,000		300,000		同窓会補助
会場費		50,000		28,800	会場費
音楽費		200,000		205,000	音楽費
謝金		200,000		235,000	謝金
通信費		20,000		23,782	通信費
会議費		10,000		10,866	会議費
事務費				2,411	事務費
文書作成費		20,000		20,000	文書作成費
講習会計	500,000	500,000	580,000	525,859	講習会計
合計	2,800,000	2,800,000	2,972,000	3,140,737	合計
アーツカウンシル東京 助成			500,000		アーツカウンシル東京 助成
同窓会会計へ入金				331,263	同窓会会計へ入金
合計	2,800,000	2,800,000	3,472,000	3,472,000	合計

\*会費収入内訳  
演奏会:途中出演中止者2名分含め56名分 (20,000×47名 25,000×9名)  
講習会:25名(10,000×19名 15,000×6名)

\*2018年5月時点の暫定経費(未入金 未払いあり)

\*音楽費:楽器店、本番使用備品等  
\*文芸費:著作権使用料

◆助成事業報告

同窓会会員の活動を応援するために平成29年度より助成金制度を総会の承認を経て事業化致しました。平成29年度助成対象の事業についてご報告いたします。また助成申請者より助成を利用した事業についてご寄稿頂いておりますので掲載いたします。会員の各方面でのご活躍をご覧ください。(制度の詳細は会報第5号またはホームページをご覧ください)

助成金交付事業一覧

申請者(卒業期)	催事・公演名	主催者	実施日	実施場所	交付額
馬場千年(54)	第6回花鳥の会定期演奏会	NHK邦楽技能者育成会54期 卒業生有志による花鳥の会	H29.10.29	亀戸梅屋敷	¥12,000
福本礼美(54)	箏合奏団絹の会第37回演奏会	絹の会	H29.6.22	日本橋公会堂	¥36,000
井上千恵子(15)	麦の会第4回演奏会	麦の会	H29.12.6	すみだトリフォニー 小ホール	¥30,000
山口連山(32)	山口連山サロンコンサート13	山口連山	H29.6.17	Gallery K	¥20,000
井上美和(55)	NHK邦楽技能者育成会55期生 第7回定期演奏会	NHK邦楽技能者育成会55期の会 実行委員会	H29.9.12	すみだトリフォニー 小ホール	¥42,000

助成事業報告

<2017年6月22日「箏合奏団 絹の会 第37回演奏会」>



昨年、NHK邦楽技能者育成会同窓会より助成いただき、下記の公演を実施いたしました。頂戴いたしました助成金は、広告費として使用させていただきました。会員の皆様方に御礼申し上げます。

箏合奏団<絹の会> 第37回演奏会  
2017年6月22日(木) 19:00開演  
日本橋公会堂(日本橋劇場) 入場料:3,000円 入場者数:328人

<プログラム>

第一部 双輪 小杉太一郎作曲  
花の香る季節に 八木澤教司作曲  
三つの影像 第三集 ~箏夢~ 高橋喜治作曲  
第二部 薩摩琵琶・能管・箏・十七絃の為の幻想曲 「先帝入水」  
肥後一郎作曲 山下晴楓薩摩琵琶作調

音楽監修 林紀人 島津秀雄  
賛助出演 琵琶 山下晴楓 笛 藤舎理生

育成会同窓会会員の出演者:10期 小暮玲子 14期 浅沼智子 22期 大倉照子  
32期 杉山理香 47期 新井智恵 48期 中畝詩歩 49期 梁井圭子 54期 福本礼美

\*絹の会:邦楽というジャンルにとらわれず、親しみ易く分かり易い音楽づくりを目指し、1980年に発足。レコーディングや定期的な公演を中心として活動を行っている。団員は、「東京芸術大学」「正派音楽院」「NHK邦楽技能者育成会」卒業生が在籍。

プログラム第一部では、委嘱作品二曲の再演と49歳で天逝された小杉太一郎氏の「双輪」演奏いたしました。第二部は、薩摩琵琶奏者の山下晴楓氏と笛の藤舎理生氏にご助演頂き、山下氏の委嘱作品より平家物語を題材とした「先帝入水」を演奏。琵琶の激しい撥音、矢が放たれたような能管の響き、多彩な表現の箏群で壇ノ浦の戦いの臨場感を、また詩情あふれる語りと美しい旋律にのせて滅び行くものの美学をお楽しみ頂きました。また、2012年より会場ロビーで、東日本大震災以降の被災地への義援金活動を行っております。

<2017年9月12日「NHK邦楽技能者育成会第55期 第7回定期演奏会」>

昨年の平成29年9月12日、東京都墨田区のすみだトリフォニーホール小ホールにおきまして、NHK邦楽技能者育成会第55期生の会による第7回定期演奏会「初秋の夕べ」を開催するに当たり、助成金制度を申請いたしました。第55期生の会は、平成22年に幕を閉じたNHK邦楽技能者育成会の最後の修了生によって構成され、翌年の平成23年9月より、「初秋の夕べ」と題した演奏会を毎年開催して今日に至っています。

第7回のプログラムは、下記の通りです。

- ・泉/宮城道雄 作曲
- ・組曲「竹取物語」より 祝宴/三宅一徳 作曲
- ・めぐりめぐる/沢井忠夫 作曲
- ・北国雪賦/長沢勝俊 作曲
- ・楽/沢井忠夫 作曲
- ・日本民謡による組曲/牧野由多可 作曲

また、第7回の第55期生の会からの出演者は次の通りです。阿佐美穂芽、井上美和、岡戸朋子、片平名緒衣、金澤法花能、菊地河山、小泉美沙、近藤智子、東海林一代、小路永和奈、寺井結子、長瀬建山、山本貴之、吉岡五月(五十音順)以上14名



終曲「日本民謡による組曲」

当日は、予想の数を上回る皆様にご来場をいただくなか、とくに終曲の『日本民謡による組曲』は助演の〈打物〉を加えた総勢15名での大演奏となったうえ、楽曲自体も日本人ならば一度は耳にしたことがある代表的な民謡が織り込まれたものであったことから、ことのほか、来場者の皆様よりご好評の声を頂戴しました。

昨今、会場費を中心とした諸経費が値上がりするなかで、助成金制度を活用させていただくことにより、出演者の金銭的負担だけでなく、助演の方への依頼などの際にもゆとりが生まれ、結果として、日本の伝統音楽にあまりなじみがないという方々に対して、邦楽の魅力を幅広く訴求していくうえでも、確実な助けとなりました。心より感謝いたします。

なお、「初秋の夕べ」は今年も、9月に第8回定期演奏会をすみだトリフォニーホール小ホールにて無事に開催することができました。来年以降は、都内での開催にとどまらず、第55期生の会のメンバーが日々の活動拠点としている熊本や名古屋、静岡といった地方都市での開催についても検討しております(来年9月21日、熊本での開催決定)。

以上のことから、今後も助成金制度を演奏・公演活動の一助にさせていただく機会があればと考えております。

## <2017年10月29日「第7回 花鳥の会」>

2017年10月29日（日）、亀戸梅屋敷にて「第7回 花鳥の会」開催いたしました。その際、NHK邦楽技能者育成会の助成金を頂き、大変助かりました。

年々出演者が減っていき、今回は4名という少人数となってしまいました。少人数では集客数の問題と会場費の問題が発生するため、きちんとした文化施設のホールではなく多目的ホールをお借りし、また、NHK邦楽技能者育成会の助成金を申請させていただき、どうにか集客と費用の問題に解決の糸口を見出すことができました。少ない人数の時には、本当に助成金の存在は大きいです。

ところが当日、まさかの大型台風上陸で客入りは見込めないどころか、演奏メンバーが揃うのか？という不安を各々が抱えながら会場に集まるという、自然界ハプニングが起きてしまいました。今回の4名は1人が都内あとは千葉県・静岡県・栃木県。予定通りに会場に辿り着き、予定通りに皆が揃ったのが奇跡です。

そして、無事4名が揃い、さあ、楽器の準備という時になって、私のお爪・チューナー・糸に印をつける色鉛筆のセットを忘れるという、人為的ハプニング。慌てて自宅に電話したものの、すでに両親は会場に向かうべく電車に乗った後でした。今回の出演陣で唯一の山田流のため、誰にもお爪を借りられません。ところが、受付手伝いをしてくださった2名の54期メンバーの力によって、私の指にピッタリなお爪が揃うという奇跡が起きました。しかも、親指が白・人差し指と中指が赤という、なんとも目出度い紅白カラー。奇跡です。

さらに、台風だというのに、用意した客席が埋まる程のお客様にご来場いただけるという嬉しい奇跡。中には、「台風の中プラプラと亀戸梅屋敷まで散歩に来たら、チラシが貼ってあったので入ってみました。実は邦楽を聴くのは初めてでしたが、すごく良かったので、次回開催の際はお知らせしてください」との嬉しいコメントまで頂きました。台風の中プラプラ散歩なんて奇跡です。（むしろ無謀？）

そして終演後、お客様が帰る頃には雨は止んでいました。安心してお見送りをして、その後 お片付け。自分たちが帰る際も雨は止んだまま。遠方からのメンバーが多かったため、打ち上げ&反省会はず、皆さん帰路につきました。私はオヤツに中華料理屋の定食を食べてから帰りましたが、食べ終わる頃には土砂降りに戻っていました。食べている間に奇跡が終了していました。とはいえ、1日の間にびよこびよこ沸き起った奇跡のおかげで、和やかな良い演奏ができたと思います。…もしかしら、最初の奇跡を起こしてくれたのは 育成会同窓会助成金制度の設立かもしれない…とも考えます。4人しか出演できないと分かった時点で、花鳥の会の存続の終わりが見え隠れし始めても、前向きに合奏練習に取り組めたこと。そして本番を迎えられたこと。育成会同窓会助成の文字が、演奏を後押ししてくれたのだと。本当にありがとうございました。

54期 「第7回花鳥の会」会計 馬場千年

## <2017年12月6日「麦の会 第4回演奏会」>

昨年、NHK邦楽技能者育成会同窓会より助成いただき、下記の公演を実施いたしました。頂戴いたしました助成金は、会場費の一部として使用させていただきました。ありがとうございました。

麦の会 第4回演奏会  
2017年12月6日（水） すみだトリフォニー 小ホール 入場者数132名



<プログラム>  
唐砧 宮城道雄作曲  
鳴沙 後藤すみ子作曲  
冬の風物詩 中島靖子作曲  
箏譚詩集 第一集 三木稔作曲  
茉莉花 牧野由多可作曲

賛助出演：尺八 松本宏平氏  
出演者（同窓会会員）：  
15期 井上千恵子  
54期 福本礼美  
55期 井上美和

\*麦の会：後藤すみ子先生の元で勉強する4人のメンバーにより2014年に発足。プログラムは、古典、出演者それぞれのソロ、現代曲の合奏で構成するジョイントリサイタル。

今回は、同窓会会員でもあります尺八の松本宏平氏にご出演いただきまして、邦楽4人の会の委嘱曲「茉莉花」に挑戦いたしました。私達はまだまだ勉強中ですが、後藤すみ子先生にご指導いただき、先生の音楽に1歩でも近づきたいという思いで臨んでおります。先生はじめご支援くださる方々の温かいお気持ちを励みに、次回第5回（2019年1月）に向けて、精進を重ねて参りたいと存じます。

## ◆懇親事業「おとなの遠足」報告

同窓会会員の相互親睦の場として始めました「おとなの遠足」。年に一度のペースで開催しています。第3回、第4回の様子をご紹介します。

### 平成29年11月21日 おとなの遠足 part3

築地から新橋へ「グルメと都心の名勝を堪能、お腹も心も満たす遠足」

少しずつ定着してきました「おとなの遠足」。昨年の秋の遠足は、築地本願寺から新橋への散策。築地本願寺では古代インド様式の外観に広いお堂、なかにはパイプオルガンが！天井に至るまでの建築芸術が素晴らしい！そして厳かな雰囲気癒されました。ここでは演奏会も催されるらしく、声明もパイプオルガンも是非聴きに来たいと思いました。

もうすぐ移転してしまう築地市場では、ランチはどこのお店の何を食べようかと思案しながら気ままにショッピング。おいしいお寿司をいただきました。

続いて都会とは思えない浜離宮庭園をのんびりお散歩。高層ビルを背にした日本庭園の趣は現代と過去が一体になったようで圧巻の景色でした。小山に登るとレインボーブリッジが望め隣には水上バスが航行、いろんな風景を楽しめる素敵な庭園でした。

最後は日本の鉄道起点である旧新橋停車場 鉄道歴史展示室へ。秋晴れの中、充実した遠足となりました。



### 平成30年6月6日 おとなの遠足 part4

邦楽探訪&神楽坂おさんぽ

6月6日の「邦楽の日」、邦楽にまつわる遠足に行ってきました。

まず虚無僧寺の江戸番所だった法身寺、虚無僧研究会の主催でもある小菅大拙ご住職解説して頂きました。すごいコレクションの資料室を拝見、多くの宮城曲の歌詞として名を残す大和田建樹が亡くなったお寺でもあります。陶器や刀を仕込んだ尺八、相撲番付のごとく番付された「三曲番付」、興味深く貴重なもので溢れていました。

ランチは隠れ家的な素敵なレストラン。風情がありお食事も美味しく大好評。

午後からは宮城道雄記念館を訪問。宮城研究の第一人者である千葉優子先生の解説付きで普段お聞きできないようなお話を伺い2時間たっぷり過ごしました。展示されていた八十絃はとても大きく演奏するには大変そうでした。どんな音色だったのか、音源が残っていないのが残念です。

最後は神楽坂を歩きつつ普国寺神楽坂毘沙門天をお参り、皆でお茶をして解散と有意義な一日になりました。

今回は、同窓会の特別会員でもある「邦楽ジャーナル」編集長の田中さんが遠足の意義にも興味を持って頂きご参加下さいました。法身寺では太さ15cm程の尺八に挑戦、音を鳴らすことが出来たのは田中さんが3番目だそうです。こうして少しずつ参加者が増えていきますように。

「おとなの遠足」Part5～小江戸・川越散策～を平成30年12月4日に企画しております。皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは本会報に同封されておりますご案内をご確認ください。



## ◆現代邦楽“考”

育成会同窓会活動の一環として、卒業生から選抜した出演者による演奏団体の立ち上げを総会決議を得て準備してまいりました。全会員対象にオーディションのご案内を送付し、平成29年10月にオーディションを実施した結果、37名の参加者を得て発足いたしました。

育成会はかつて、第二次世界大戦後の日本に於いて堰を切ったように興った“現代邦楽”の創造活動の中心を担っていましたが、これらの膨大なアーカイブの中から、時代の流れに添いその時を代表する作品を今改めて世に問う事こそ育成会卒業生の役割ではないかということはこの演奏団体のコンセプトとしております。

この団体を「現代邦楽“考”」と名づけ、以下のような活動を行ってまいりました。平成30年11月5日には初めての主催公演を控えております。主催公演では育成会同窓会としては初めての委嘱作品を初演いたします。同窓会会員皆様のご協力を何卒お願い申し上げます。

### (1) NPO法人全国邦楽合奏協会主催 第5回全国邦楽合奏フェスティバルin川崎

平成30年9月1日「スペシャルジョイントコンサート～邦楽合奏の新天地へ」へ出演。「絲竹交響第二番」「日輪幻影」の2曲を指揮：板倉康明にて演奏。

### (2) 主催公演

★平成30年度文化庁芸術祭参加公演

平成30年11月5日(月)「現代邦楽“考”」

場所：東京文化会館小ホール

時間：18時30分開場／19時開演

料金：当日5,000円／前売4,000円／大学生以下500円／同窓会会員3,000円

曲目：

(1) 船川利夫／箏と三絃の為の嬉遊曲 [1962年]

(2) 藤井凡大／絲竹交響第二番 [1965年]

(3) 三善 晃／流觴曲水譜 [1986年]

(4) 菅野由弘／日輪幻影 [2000年]

(5) 権代敦彦／Nunc Stans～非時(ときじく)～ [委嘱新作・世界初演]

指揮：板倉康明

助成：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／公益財団法人花王芸術・科学財団／公益財団法人ロームミュージックファンデーション

オーディションについてやこれまでの経緯については本会報4～5頁の議事録もご参照ください。

団体や公演の詳細については現代邦楽“考”運営委員までメールにてお問合せ下さい。

(ikuseikai.ensemble@gmail.com)

上述の11月5日主催公演について、当日の運営スタッフを募集しております。

受付や誘導など、当日だけでもお手伝い頂ける方は現代邦楽“考”運営委員までご連絡をお願い致します。(ikuseikai.ensemble@gmail.com)

## ■事業計画

### ◆平成31年度 助成金申請について

平成31年度も以下の内容で助成金申請の募集を予定しております。詳細については、準備が出来次第、ホームページ、メール等を通じて公表いたします。詳しく知りたい方は総務までご連絡をお願い致します。

NHK邦楽技能者育成会助成金

申し込み期間 平成31年1月1日～平成31年2月1日（予定）

予算額 300,000円程度（総助成件数については特に定めません。）

### ◆現代邦楽「響」2019

現代邦楽「響」2019を以下のとおり実施いたします。

7月に募集を行い、今年度も多数の方々にご出演頂く予定となりました。

#### (1)演奏会

日時2019年3月7日（木）夜公演

会場渋谷区大和田伝承ホール（345席）

入場料前売り：3,500円当日券：4,000円学生：500円（会員価格3,000円）

コンセプト：

- ・現代邦楽作品の採掘と継承
- ・事前に講習会を設けることにより、曲の理解を深める
- ・指導者を設け、より高い演奏を目指す
- ・合奏を通じて会員の研鑽および親睦を深める

プログラム（100分程度休憩15分含む）

(1) 北国雪賦（長沢勝俊）指揮：石川憲弘氏（出演予定者20名）

(2) 嘉木の序－尺八六重奏のための－（角篤紀）＊改訂初演指導：福田輝久氏（出演予定者6名）

(3) 三弦・箏・十七弦による四重奏曲（藤井凡大）指導：後藤すみ子氏（出演予定者15名）

(4) 三角州（松本雅夫）指導：後藤すみ子氏（出演予定者11名）

(5) 太棹協奏曲（牧野由多可）指揮：石川憲弘氏（出演予定者20名）

\*2019年1月末からリハーサル実施予定

#### (2)講習会

全2回2コマ（1コマ90分）

日程：2018年9月29日10月21日

場所：雑司が谷地域創造館および東京芸術劇場

講師：後藤すみ子氏石川憲弘氏

内容：①三弦・箏・十七弦による四重奏曲（藤井凡大）講師：後藤すみ子氏（申込者16名）

②北国雪賦（長沢勝俊）講師：石川憲弘氏（申込者17名）

実行委員会代表後藤すみ子（2期副理事長）

横山裕子（29期評議員）山口連山（32期評議員）高須真穂（32期）富緒清律（33期理事）

合田真貴子（34期評議員）設楽瞬山（38期理事）原郷界山（44期理事）小林千恵子（46期理事）

松本宏平（53期理事）福本礼美（54期理事実行委員長）井上美和（55期理事）

平成29年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会 収支決算報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成30年 5月 29日

平成30年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会 収支予算案

平成30年 5月 29日

1.一般会計

(収入の部)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会費	2,169,000	1,710,000	459,000	570口入金(2017/5/30 723名在籍)
繰越金	5,965,138	5,965,138	0	
雑収入		26	26	普通預金利息
合計	8,134,138	7,675,164	458,974	

(支出の部)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
事業費				
総会	12,000	11,700	300	会場費
会報作成費	50,000	48,280	1,720	印刷・デザイン等
会議費	100,000	52,700	47,300	理事会・評議員会 諸経費
助成金	300,000	140,000	160,000	助成件数5件
講習会	300,000	245,859	54,141	
「響」演奏会	550,000	272,878	277,122	講習会/演奏会 計331,263円戻入
合奏団	143,800	143,800	0	
HP管理費	60,000	60,000	0	
印刷費	40,000	25,226	14,774	総会関係・会議資料等
通信費	200,000	322,707	▲122,707	郵送費
事務作業費	200,000	97,000	103,000	議事録・文書作成費等
文具・消耗品	30,000	24,108	5,892	
人件費	50,000	15,000	35,000	発送アルバイト料
交際費	50,000		50,000	慶弔費・菓子折等
雑費	60,000	33,759	26,241	FAX・振込手数料等
予備費			0	
合計	2,145,800	1,493,017	652,783	

差引残高 6,182,147円は、平成30年度に繰越いたします。

上記のとおり、報告いたします。

平成30年5月29日 会計 原郷界山

監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告いたします。

平成30年5月29日 会計監査 古屋輝夫

平成30年5月29日 会計監査 森田柊山

収入の部

項目	金額	備考
会費収入	1,851,000	617名×@3,000
		* 昨年入金実績 171万円(570口)
小計	1,851,000	
前期繰越金	6,182,147	
収入合計	8,033,147	

支出の部

項目	金額	備考
事業費		
総会	12,000	会場費
会報作成費	50,000	印刷・デザイン
会議費	60,000	理事会・評議員会 諸経費
助成金	300,000	
講習会	250,000	
「響」演奏会	700,000	
合奏団	500,000	新曲委嘱料
小計	1,872,000	
管理費		
HP管理費	60,000	年間管理費(固定)
印刷費	40,000	総会関係・会議資料等
通信費	300,000	郵送、切手代
事務作業費	150,000	議事録、文書作成費
文具・消耗品費	30,000	
人件費	50,000	発送アルバイト料
交際費	50,000	慶弔費、菓子折等
雑費	60,000	FAX契約料、携帯
小計	740,000	
合計	2,612,000	
次期繰越	5,421,147	
支出合計	8,033,147	